

學

伴東小学校 校長室だより

【伴東プライド】を中核に、
「やる気いっぱい 笑顔いっぱい」の学校



外の景色に目をやると山々の木々が紅葉し、まさに秋本番という感があります。今年の秋はワールドカップバレーボール、ラグビー、世界陸上・体操、野球プレミア12等、スポーツの大会が続き、スポーツそのものも持っている素晴らしさや日本のスポーツ界が目指す方向性、そして選手個々の人間性にも魅力を感じる秋となっています。また、地元のプロ野球チームは新監督が就任し、来期に向けたチームづくりに大いに期待が高まっています。

さて、9日（土）に行いました「全校学習発表会」にはたくさんの保護者・地域の皆さんにご来校いただき、誠にありがとうございました。子どもたちが日頃教室で学びを深めている国語科・社会科・音楽科・生活科・総合的な学習の時間・平和学習等の内容を、学年の発達段階に沿って発表いたしました。どの学年も歌があり、体育館にきれいな歌声が響いたことと思います。また、今年も6年生がオリジナルソングを作成し、発表会で初披露させていただきました。6年生の曲作りは本校の伝統となっており、12月8日（日）HBGホールで開催される「広島市 文化の祭典（音楽の部）」でも6年生が伴東小学校を代表して歌います。オリジナルソングの発表は本校だけで、毎年注目を浴びています。子どもたちの学びの積み重ねがいろいろな方面で芽を出し、一人一人の可能性の開花に結びついてほしいと願っています。今後も継続して取り組んで参ります。



発表会後に引き続き実施いたしました『子ども110番の家』ウォークラリーにもたくさんの保護者の皆様にご参加いただき、お世話になりました。保護者・地域の見守りのおかげで、伴東学区は不審者事案がほとんどない地区として知られるようになりました。この「安全・安心」な状況が今後も続きますよう、引き続きご支援とご協力をお願いいたします。

今日、11月22日は『子ども安全の日』です。平成17年（2005年）に発生した木下あいりちゃん事件から今年で14年目となります。事件がなければあいりちゃんも成人です。安全の日集会では「命の尊さや大切さ、自分も周りの人も大切にすること」を伝え、「一つしかない自分の命は自分で守る」ことを改めて全校で確認しました。また、一斉下校の途中には通学路での危険箇所の点検確認と、『子ども110番の家』の皆さまにお礼のお手紙をお渡ししました。

寒さがどんどん増す中、毎日子どもたちの見守りを地域の皆さんがしてくださっています。感謝の気持ちは「元気なあいさつ」で示してほしいと思います。

インフルエンザの流行期に入ったと、先週広島市が発表しました。生活リズムを整え、体調が優れないときは早めの受診をお願いします。

今年もインフルエンザの流行期となりました。早いところでは9月末から罹患の情報があり、心配をしていました。広島市立の園・学校でも学級・学年閉鎖の

措置が取られるようになり、いよいよといった感じです。本校では今日現在インフルエンザの罹患報告はありませんが、予防を心がけなければなりません。手洗いやうがいの励行、不必要な外出や人込みを避ける、体調が優れないときは早めに受診する等、個々で取り組むことが大切です。特に子どもたちには、規則正しい生活を送るようにご家庭でもご配慮ください。学校生活の様子を見ると、1時間目からあくびをしていたり、机に伏して寝ていたりする子どもが何人もみられます。前日の夜の様子を尋ねると、ほとんどが遅くまで起きていたとのこと。

就寝時間を超えても自室の布団の中でオンラインゲームをしている子どもの実態があると、先日参加した研修会で報告がありました。インフルエンザだけに限らず、健やかな成長のためにも「早寝早起き」「規則正しい生活」を心がけましょう。



繰り返しになりますが、10月18日に通知しましたようにインフルエンザに罹患して欠席後の再登校の関しましては『インフルエンザに関する報告（保護者記入）』の提出をお願いいたします。（学級・学年閉鎖になりませんように・・・）

大学入試制度改革（英語試験等）にストップがかけられました。広島県立高等学校の入試見直しの動向にも注視が必要です！

9・10月号でお伝えしました「大学入試」と「県立高等学校入試」について、ともに動きがありました。大学入試では英語の試験の民間委託に対してストップがかけられ、準備をしていた受験生に影響が出ているとのことでした。また、広島県立高等学校の入試見直しに対しても、今後もしばらくの間パブリックコメントを受け付けより良い方策を探るとの報道がありました。小学校6年間の次は中学校3年間、現在在籍している子どもたちが15の春を迎える時、また大学進学の時までには新たな制度が導入されることに間違いはありません。どのような方法になるのか、今後もその動向に注視する必要があります。

先日、伴中学校の英語の授業を参観しました。1年生と3年生の教室で英語担当教諭とネイティブのALTの先生が授業を進められており、生徒たちは一生懸命英語での会話をしていました。3年生の教室で本校の卒業生の顔を見たとき、「この子たちも来春は高校生なんだ・・・」と思った次第です。特に中学校生活3年間はあっという間です。次のステップの選択を多面からできるよう準備をしてほしいと願うばかりです。どの子どもさんにもやってくる入試です。今後の動向には共にアンテナを張っておきましょう。



ご報告 ◎10月29・30日で、6年生が修学旅行に行ってきました。訪問先を関西方面に変更して2回目、「備前焼窯元→姫路城→人と未来防災センター→キッザニア甲子園」を訪れました。見学、体験の充実した2日間でした。また、どこの場所でも「いつも心に【伴東プライド】」を実践しました。◎11月20日、1年生がアソカこども園の年長さんとの交流会をもちました。「あたらしい1ねんせいをしょうたいしよう ～小学生しゅぎょうをしよう～」のテーマで、小学校を案内しました。ランドセルの背負い方、トイレの使い方、廊下の歩き方などを伝え、秋のおもちゃで一緒に遊びました。優しい1年生でした！

27・28日の一泊二日で6年生の修学旅行を実施しました。PTA総会でもお伝えしましたが、これまでの山口・九州方面から関西方面への見学先を変更しての初めての旅行となりました。27日は山陽道から岡山県に入り、備前焼窯元でてびねりの体験、その後世界遺産の姫路城を見学し、阪神淡路大震災の経験と教訓を伝える「人と防災未来センター」を訪れました。28日はキッザニア甲子園でキャリア教育の一環として様々な職業体験を行いました。どの子も楽しみながら実際にその仕事の一部を体験し、将来の自分を思い浮かべているようでした。



関西方面を検討する際の一つの課題として挙げられたバスの乗車時間の長さについては、学級でバスレクの係をつくり楽しみながら時間を過ごすよう準備したこと、バスガイドさんの説明や話し、ゲームなどで退屈することはありませんでした。また、道路が整備されバスの性能も格段に向上していることでバス酔いの子どもも出ませんでした。帰りの車内ではキッザニア甲子園で行った体験の様子をDVDに記録してもらった友だちの映像も楽しみました。(詳細は12月号で) 今回の実施を次年度以降にしっかり生かしていきたいと思います。